

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
【発行日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【公開番号】特開2012-5307(P2012-5307A)  
【公開日】平成24年1月5日 (2012.1.5)  
【年通号数】公開・登録公報2012-001  
【出願番号】特願2010-140050(P2010-140050)  
【国際特許分類】

H 0 2 K 5/16 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 5/16 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月24日 (2012.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

固定子巻線を埋め込んだ固定子コア部及び / 又はそのコイルエンド部の回転子と向合う面に絶縁層を配置し、

前記絶縁層の表面に、前記固定子コアの磁束の流れに垂直の方向に導電部と絶縁部を交互に形成したことを特徴とする回転電機。

【請求項 2】

固定子巻線を埋め込んだ固定子コア部及び / 又はそのコイルエンド部の回転子と向合う面に絶縁層を配置し、

前記絶縁層の表面に、前記固定子コアの磁束の流れに垂直の方向に、細長い複数の導電部を間隔を置いて配置したことを特徴とする回転電機。

【請求項 3】

固定子巻線を埋め込んだ固定子コア部及び / 又はそのコイルエンド部の回転子と向合う面に、周方向に導電部と絶縁部を交互に形成したことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の回転電機。

【請求項 4】

固定子巻線を埋め込んだ固定子コア部及び / 又はそのコイルエンド部の固定子の回転子と向合う面に絶縁層を配置し、

前記絶縁層の表面に、軸方向に伸びる細長い複数の導電部を、周方向に間隔を置いて配置したことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の回転電機。

【請求項 5】

前記軸方向に伸びる細長い複数の導電部が、回転軸に平行に伸びていることを特徴とする請求項 4 に記載の回転電機。

【請求項 6】

前記絶縁層の表面に、複数のリング状の導電部を軸方向に間隔を置いて配置したことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の回転電機。

【請求項 7】

軸方向に細長い複数の短絡線が設けられ、軸方向に独立した前記複数のリング状の導電部間を接続すると共に、前記固定子コアの軸方向端部において、前記固定子コアと電氣的に接続したことを特徴とする請求項 6 に記載の回転電機。

**【請求項 8】**

前記導電部と絶縁部の交互配置が格子状に設けられたことを特徴とする請求項 1 または 3 に記載の回転電機。

**【請求項 9】**

前記導電部が、前記絶縁層上に縞状に配置されたことを特徴とする請求項 2 または 4 に記載の回転電機。

**【請求項 10】**

前記導電部と前記絶縁部の交互配置が、回転軸方向に対し垂直面上に形成されていることを特徴とする請求項 3 に記載の回転電機。

**【請求項 11】**

前記導電部を、前記固定子コアと電氣的に接続したことを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の回転電機。

**【請求項 12】**

表面に絶縁処理を施した磁性体によって形成された前記固定子コアに固定子巻線を埋め込み、前記固定子コアの回転子と向合う面に、前記固定子コアの磁束の流れに垂直の方向に導電部と絶縁部を交互に形成したことを特徴とする回転電機。

**【請求項 13】**

表面を絶縁処理した軟磁性粉体を圧縮成型して前記固定子コアを形成したことを特徴とする請求項 12 に記載の回転電機。

**【請求項 14】**

前記固定子コア部の前記導電層の総面積に比べ、前記コイルエンド部の導電層の総面積を広く形成したことを特徴とする請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載の回転電機。